

白老町民向け ウポポイ無料入場のための「引換券」発送予定のお知らせ

象徴空間開設
に向けて 33

令和2年度アイヌ政策推進交付金を活用し、白老町民向けにウポポイへの入場を無料にするための事業を予定しています。ウポポイへ親しみを持ち、実際に足を運ぶことで、ウポポイの良さを周囲に伝えてもらうことを目的としております。

◆事業概要

ウポポイの入場券との引き換えが可能な「ウポポイ無料入場引換券」（はがき）を以下の対象者へ送付します。

はがきを受け取った方は、ウポポイの入場口で「はがき」と「本人確認ができるもの」をスタッフに掲出することで、1回分の入場券と引き換えることができます。

また、はがきを受け取った方の内、何度もウポポイを訪れたい希望をお持ちの方は、役場にて申請手続きを行うと、後日、年間パスポートが発行されます。

◆対象者

ウポポイの入場が有料となる高校生の年齢以上で、令和2年4月1日時点で白老町に住民票がある方を想定しています。

◆事業開始予定日

5月号で詳細な開始時期をあらためて掲載します。



ウポポイ
PRキャラクター
「トウレツポん」

問い合わせ先：アイヌ総合政策課 象徴空間開設準備グループ ☎82-7739

知っておこう
アイヌ文化

パコロカムイ

イランカラプテ。新型コロナウイルス感染症の収束がまだ見えない中、あらためて私たちは目に見えないウイルスによる病気の恐ろしさと、それ

による日常生活への大きな影響を実感しています。

さて、アイヌ民族は人間が生きていく上で必要なもの、例えば動物や植物、火や水などのほか、臼や杵といった生活用具も「カムイ（神）」として敬いましたが、人間の力ではどうすることもできない地震や津波などの自然災害、そして命を落とす病気、伝染病も悪いカムイの仕業だと考え、天然痘などの病気の神をアイヌ語でパコロカムイと呼んでいました。白老町でも宮本サキ氏（1881-1957）が語った神謡にはウサギのカムイが舟で人間の村に近づいてくる病気のカムイを追い払った様子が出てきます。アイヌ民族にとってパコロカムイは生活を脅かす神なので速やかに自分たちの元から立ち去らせ、寄せ付けないようにする必要があったのです。この神謡を基にしたアニメ『うさぎがはねた～イセボテレケ～』が公益財団法人アイヌ民族文化財団制作のDVD『アイヌのお話アニメ オルシペ スウォプ5』に収録されており、チキサニにて閲覧可能です。



アイヌ総合政策課 アイヌ施策推進グループ 学芸員 森洋輔

【訂正】3月号の当コラム文中、明治天皇の白老ご来訪が「明治44年」とありましたが、「明治14年」の誤りでした。訂正いたします。

問い合わせ先：イオル事務所 チキサニ ☎82-6301